

## 4. 新聞等に掲載された活動

### 組織解剖学(旧解剖学第三)

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
赤澤祐子・教授	原爆被爆とがんに関する研究	長崎新聞	2023年1月28日	第7回長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞（優秀女性研究者賞）を受賞して

### 腫瘍医学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
池田裕明・教授	CAR-T試験 オペレーションの効率化に向けて	薬事日報 第12715号	2023年3月8日	国内のCAR-T試験のオペレーションの効率化に向け先導的な取り組みを行っている医療施設研究機関が意見交換した。日本に向けてCAR-T療法の均てん化と効率化を促進することを目指す。

### 地域医療学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
川尻真也・准教授	医療ルネサンスNo. 8123オンラインで支える「離島の患者3D画像診断」	読売新聞	2023年10月24日	離島の患者3D画像診断について記事が掲載された。

### 医療情報学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
松本武浩・准教授	地域医療を支えるために 長崎県「あじさいネット」がめざすものとは	NCC	2023年8月26日	地域医療の中でICTを利用した情報連携の重要性を述べた。
松本武浩・准教授	医療・介護最前線 あじさいネット（長崎県）	日経産業新聞	2023年8月17日	あじさいネットを利用した医療介護連携を紹介した。
松本武浩・准教授	これからどうする電話診療！～会員特別価格でオンライン診療～	オンライン診療病院事例WEBセミナー	2023年7月25日	オンライン診療の重要性を解説しあじさいネットの中で、安価に利用できるサービスを報告した。
松本武浩・准教授	「あじさいネット」による患者情報の共有と薬局薬剤師の関わり	パレット121号	2023年12月1日	あじさいネットを利用した薬局での役割を概説した。

### 内科学第一

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
川上 純・教授	地域連携で患者さんに寄り添う診療	読売新聞	2023年5月30日	地域医療連携について社会に発信した。
川上 純・教授	シェーグレン症候群とは？	毎日新聞	2023年7月26日	シェーグレン症候群について社会に発信した。
川上 純・教授	第11回医療講演会 厚労/AMED 研究班からの情報提供	キャッスルマン病患者会 会報Vol. 8	2023年7月1日	キャッスルマン病に関する最新情報を患者へ発信した。
川上 純・教授	難病プラットフォームの発表	キャッスルマン病患者会 会報Vol. 8	2023年7月1日	キャッスルマン病に関する最新情報を患者へ発信した。

川上 純・教授	シェーグレン症候群	朝日新聞	2023年9月30日	シェーグレン症候群について社会に発信した。
川上 純・教授	医療ルネサンス No. 8123 オンラインで支えるー離島の患者3D画像診察ー	読売新聞	2023年10月24日	遠隔医療について社会に発信した。
川上 純・教授	キャッスルマン病	メディカルノート(web)	2023年12月5日	キャッスルマン病について社会に発信した。
古賀智裕・講師	第11回医療講演会 特発性多中心性キャッスルマン病とTAFRO症候群の病因と病態	キャッスルマン病患者会 会報Vol.8	2023年7月1日	キャッスルマン病に関する最新情報を患者へ発信した。
住吉玲美・助教	第11回医療講演会 特発性多中心性キャッスルマン病とTAFRO症候群の分子標的薬	キャッスルマン病患者会 会報Vol.8	2023年7月1日	キャッスルマン病に関する最新情報を患者へ発信した。

## 内科学第二

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
迎 寛・教授	～65歳以上の高齢者は要注意～知ってほしい『肺炎』予防の正しい知識	朝日新聞	2023年1月1日	『肺炎』の原因を知ってもらい、ワクチン接種の重要性と基礎疾患のコントロールの重要性について解説。
迎 寛・教授	国産初のコロナ飲み薬ゾコーバ緊急承認	公明新聞	2023年1月18日	緊急承認されたゾコーバの効果について公明党 秋野公造議員と共に解説
迎 寛・教授	長崎大学、プラズマ乳酸菌のコロナ症状緩和効果の研究成果を発表	Impress Watch	2023年4月28日	プラズマ乳酸菌研究についての研究報告会見に関する記事
迎 寛・教授	新型コロナの感覚障害緩和にプラズマ乳酸菌「有効」長崎大チーム	毎日新聞	2023年4月28日	プラズマ乳酸菌研究についての研究報告会見に関する記事
迎 寛・教授	プラズマ乳酸菌で新型コロナ症状改善 長崎大臨床研究 日本呼吸器学会で発表	長崎新聞社	2023年4月29日	プラズマ乳酸菌研究についての研究報告会見に関する記事
井手昇太郎・講師	長崎大学ヘルシーキャンパスプロジェクト 長崎大学 全学生・教職員のための「健康を守る」ショートセミナー 2023年	長崎新聞、長崎放送、長崎文化放送、テレビ長崎、長崎国際テレビ	2023年12月5日、6日	梅毒が長崎県でも広がっており、長崎大学の学生・教職員向けに啓発セミナーを行った。地元メディアで取り上げられた。

## 消化器内科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
山口直之・准教授	電気的特性(高周波発生装置設定)からみた新型止血鉗子RAICH02ワイドエッジとスモールカップの有効性	カネカ製品カタログ (医療従事者向け)	2023年	「電気的特性(高周波発生装置設定)からみた新型止血鉗子RAICH02ワイドエッジとスモールカップの有効性」について報告した。
松島加代子・教授	卒後20年、長大愛を紡ぐとき	長崎医学同窓会 朋百	2023年5月	「卒後20年、長大愛を紡ぐとき」を寄稿した。
中尾康彦・助教	第82回日本癌学会学術総会開催 がん診断をAI技術で支える	週刊 医学界新聞	2023年10月16日	自らが開発中の、肝細胞癌造影CT像に対する免疫チェックポイント阻害薬の症状改善効果の予測モデルの有効性について報告した。

佐々木 龍・助教	STOP 慢性肝臓病！STOP 肝細胞がん！ ”診断と治療のアップデート” 「肝臓がんの薬物療法」	市民公開講座 長崎医療センター Youtubeチャンネル	2023年11月16日	「肝臓がんの薬物療法」について市民の皆様に対して発表しました。
----------	---	------------------------------------	-------------	---------------------------------

## 循環器内科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
前村浩二・教授	合併症が怖い「高血圧」正しく知って重病を防ごう！	読売新聞	2023年1月28日	日頃の血圧管理や早期からの治療、合併症の予防の大切さなどについてインタビューを受けた。
前村浩二・教授	「高血圧」の管理で健康寿命の延伸を～放置せず日頃から予防意識を持とう～	朝日新聞	2023年5月31日	高血圧の原因や合併症、血圧コントロールの大切さなどについてインタビューを受けた。
前村浩二・教授	循環器疾患の対策強化訴え、G7開催に合わせ CfHH、コシュ・レイ議長「優先順位上げたい」	日刊薬業	2023年5月17日	G7開催に合わせて長崎で開催されたCouncil for Heart Healthについて報道された。
南 貴子・准教授	長崎県全域の医師の両立支援に取り組む「あじさいプロジェクト」	九州医事新報 第711号	2023年8月1日	離職防止やフルタイム復帰支援、次世代教育等で働く医師の増加に寄与

## 精神神経科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
熊崎博一・教授	5歳児健診	ぎゅっと長崎	2023年7月14日	5歳児健診の意義について説明を行った。
熊崎博一・教授	ロボットを発達障害にどう生かす？	メディカルトリビューン	2023年7月	ロボットの発達障害に用いる意義について解説した
熊崎博一・教授	うつ病とは	毎日新聞長崎版	2023年5月	うつ病の実態について解説した
熊崎博一・教授	認知症とうまく付き合うためには	朝日新聞	2023年10月30日	認知症との付き合い方について説明した

## 小児科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
森内浩幸・教授	免疫低下インフル流行	毎日新聞 朝刊 (西部版)	2023年2月4日	コロナ禍で集団免疫が低下したことでインフルエンザが流行したことを概説した。
森内浩幸・教授	「糖尿病」名前変える？ 負のイメージ払拭 治療の力に	中日新聞	2023年2月14日	「糖尿病」という医学用語が当事者に与える影響について概説した。
森内浩幸・教授	WHOが「成人に追加接種を推奨せず」最終結論ワクチン	週刊文春 2023年4月13日号 (134ページ)	2023年4月13日	新型コロナワクチンの接種対象等について議論した。

森内浩幸・教授	胎児に危険な病原体 11ヶ条で防ごう	長崎新聞	2023年6月19日	母子感染を防ぐために妊婦へ生活上の注意を喚起した。
森内浩幸・教授	5類移行 子どもと新型コロナ 特別に怖がらず対策を	公明新聞	2023年6月20日	新型コロナが5類に移行するにあたり、特に子どもにおいて留意すべきことを概説した。
森内浩幸・教授	新型コロナワクチンの秋冬接種、20日から 全世代対象に無料で実施	朝日新聞デジタル	2023年9月19日	新型コロナワクチンの接種対象等について議論した。
森内浩幸・教授	コロナ秋冬接種 全世代が対象	朝日新聞	2023年9月20日	新型コロナワクチンの接種対象等について議論した。
森内浩幸・教授	mRNAその役割と今後の可能性	公明新聞	2023年10月25日	mRNAワクチンについて、特にその役割と今後の発展について概説した。
森内浩幸・教授	インフル、溶連菌、プール熱…子どもの感染症流行 大人がすべき備え	朝日新聞デジタル	2023年12月1日	コロナ禍で集団免疫が低下したことでインフルエンザ、溶連菌、プール熱など様々な感染症が流行していることや対応策について概説した。
森内浩幸・教授	県内インフル警報 2番目の早さ さらに拡大懸念	長崎新聞	2023年12月1日	長崎県内のインフルエンザ流行状況と対策について概説した。
森内浩幸・教授	県内にインフル警報 急拡大で医療逼迫 懸念	長崎新聞	2023年12月4日	長崎県内でのインフルエンザ流行に伴う医療逼迫の恐れについて言及した。
森内浩幸・教授	子どもの感染症 続く流行	朝日新聞	2023年12月12日	コロナ禍で集団免疫が低下したことで、様々な感染症が流行していることや対応策について概説した。
森内浩幸・教授	使いやすい薬へ改良目指す コロナ飲み薬処方割合半減	読売新聞	2023年12月13日	新型コロナウイルス治療薬をどう利用すべきか概説した。

## 外科学第一

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
松本桂太郎・准教授	基礎研究の活動報告	日本経済新聞	2023年6月23日	当科で行っている基礎研究について将来の臨床応用に向けた取り組みを報告した
山根裕介・助教	外科教育、小児外科の活動報告	読売西部朝刊二福岡	2023年9月27日	外科医育成および当科の小児外科診療の取り組みに関して説明を行った。

## 外科学第二

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
江口 晋・教授	肝胆膵がんの名医	最新治療データで探す 名医のいる病院2023	2023年1月10日	肝胆膵がんの名医として掲載された。
江口 晋・教授	肝硬変 傷んだ細胞再生 長崎大など 2年後臨床研究へ	読売新聞	2023年6月1日	長崎大学と東京医科大学などのチームが、重い肝硬変患者の肝細胞を若返らせる再生治療の実用化に向け、ブタを使った実験を始めた。
江口 晋・教授	脳死下の臓器提供1000例目 長崎大病院で肝臓移植	長崎新聞	2023年10月31日	2023年10月28日に長崎大学病院で脳死下の肝臓移植手術を行った。

## 整形外科

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
梶山史郎・講師 小関弘展・リハビリテーション科教授	知っておきたい子どもの「スポーツ障害」	朝日新聞	2023年4月26日	低下する子供の体力・運動能力の話題とともに、投球で起こるスポーツ障害の解説や「野球肘検診」の取り組みを紹介し、早期発見、治療の重要性を解説した。

## 皮膚科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
室田浩之・教授	発汗異常症の新規治療薬	ラジオNIKKEI医学講座	2023年1月10日	多汗症について原因や現況、新しい治療法などについて解説した
室田浩之・教授	背中のかゆみ 強くかかない	読売新聞	2023年1月20日	乾燥する冬季の背中のかゆみについて、ケアの仕方や生活習慣の見直しについて述べた
室田浩之・教授	室田氏に県科学技術大賞 長崎大大学院教授 香料で発汗制御	読売新聞	2023年3月28日	長崎県科学技術大賞の受賞について取材を受けた
室田浩之・教授	エクリン汗腺に発現する機能的嗅覚受容体を発見！匂いの成分で発汗調節が可能に	プレスリリース	2023年3月29日	JID Innovationに掲載された論文について解説した
室田浩之・教授	皮膚病の革新的病態研究を通じた科学技術開発によるプラネタリーヘルスの推進～世界初の発見 治療薬の開発に期待ー皮膚に特定のにおい香料、汗の量を調節可能に	イブニング長崎	2023年3月29日	特定の香料で発汗量を調節可能とする研究について取材を受けた
室田浩之・教授	【きょうのセカンドオピニオン】汗が全く出ない	毎日新聞	2023年4月12日	汗が全く出ない症状について、特発性後天性全身性無汗症(AIGA)の可能性や、日常生活での工夫についてアドバイスした
室田浩之・教授	多汗症	ヘルシーファミリー倶楽部	2023年6月1日	多汗症の概要、原因、検査や治療法について解説した
室田浩之・教授	無汗症または乏汗症	ヘルシーファミリー倶楽部	2023年6月1日	無汗症や乏汗症の概要、原因、検査や治療法について解説した

室田浩之・教授	腋臭症（わきが）	ヘルシーファミリー倶楽部	2023年6月1日	腋臭症（わきが）の概要、原因、検査や治療法について解説した
室田浩之・教授	昔から汗かきで、脇や顔から滴り落ちるほど汗が出ます。寝汗はかきませんが、昼間は仕事に影響があり、とても悩んでいます。	夏のけんこう	2023年6月1日	局所多汗症についてアドバイスを行った
室田浩之・教授	汗のお悩み改善!臭いベタつき熱中症予防まで	あしたが変わるトリセツショー	2023年6月8日	汗腺のしくみについて解説し、暑くなる前の「暑熱順化」の方法や有用性について解説した
室田浩之・教授	【多汗症治療最前線】βイオンによる発汗制御の研究	おはよう日本	2023年7月23日	「多汗症治療最前線」特集の中で、βイオンによる発汗制御の研究について解説した
室田浩之・教授	汗に関わる疾患 血汗症、sticky palmとは何か。	Medical Tribune	2023年9月21日	汗と皮膚疾患との関係を解説、発汗外来で印象に残った血汗症、sticky palmの症例について紹介した
室田浩之・教授	原発性手掌多汗症に新薬 保険診療で処方可能	十勝毎日新聞	2023年10月16日	原発性手掌多汗症について解説、6月に発売された新薬について紹介した
室田浩之・教授	原発性手掌多汗症に新薬 保険診療で処方	八重山毎日新聞	2023年10月21日	原発性手掌多汗症について解説、6月に発売された新薬について紹介した

## 泌尿器科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
大庭康司郎・准教授	健やかなシニアライフを	読売新聞	2023年9月22日	前立腺癌について解説し、啓蒙活動を通じて前立腺がん診療の成績向上に貢献した。
松尾朋博・講師	“メトロポリタン+”での特集記事	東京新聞	2023年11月17日	頻尿対策に関する解説を行った。

## 眼科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
上松聖典・講師	弱視の発見とその治療 ～弱視～	週間健康マガジン	2023年2月1日	弱視について解説を行った。
上松聖典・講師	弱視の発見とその治療 ～スマホ内斜視～	週間健康マガジン	2023年2月1日	スマホ内斜視について解説を行った。
大石明生・准教授	黄斑変性	NBC長崎放送あさカラ	2023年9月19日	黄斑変性について解説を行った。

## 耳鼻咽喉科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
熊井良彦・教授	嚥下障害診療の医科歯科連携と、離島医療の充実を	九州医事新報社	2023年1月20日	教授就任からの取組と今後の展望
熊井良彦・教授	治療に伴い発声や嚥下など日常生活の重要な機能に大きく影響する「咽頭がん」	朝日新聞	2023年8月30日	咽頭がんについての解説

熊井良彦・教授	【さがす・調べる】 病気を調べる	ヘルシー健康保険 組合	2023年6月1日	健康保険組合員のヘルシー ファミリー倶楽部における医 学事典コンテンツ
---------	---------------------	----------------	-----------	---

## 放射線医学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と 社会との関連
東家 亮・教授	放射線治療～日本における放 射線治療の現状～	週刊健康マガジン	2023年12月1日	放射線治療に関する社会的啓 蒙
東家 亮・教授	放射線治療～がんに対する放 射線治療の役割～	週刊健康マガジン	2023年12月8日	放射線治療に関する社会的啓 蒙
東家 亮・教授	放射線治療～定位放射線治療 ～	週刊健康マガジン	2023年12月15日	放射線治療に関する社会的啓 蒙
東家 亮・教授	放射線治療～緩和的放射線治 療～	週刊健康マガジン	2023年12月22日	放射線治療に関する社会的啓 蒙

## 心臓血管外科学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と 社会との関連
三浦 崇・教授	講演	NHK:長崎県警察本 部にて	2023年2月14日	男性職員の育児休業取得推進 について
三浦 崇・教授	コメント	読売新聞紙面内読 売広告西部	2023年12月26日	大動脈解離について
三浦 崇・教授	講演	ダイバーシティプ ログラム推進学習 プログラム:SDセミ ナー	2023年7月3日	Zoomにて男性育休について
三浦 崇・教授	コメント	九州医事新報:講 座クローズアップ 企画	2023年10月20日	「低侵襲な弁形成術の強み、全 国・海外へ普及を」心臓弁膜症 の治療において、低侵襲な弁 形成術の確立、普及について
三浦 崇・教授	講演	きらめき通信 Vol. 77(九州大学病 院きらめきプロ ジェクト発行):九 州大学病院にて	2023年11月	男性の育児参加:長崎大学心 臓血管外科における育休取得 のこころみ

## 総合診療学

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
前田隆浩・教授	ICTとドローンを使ったへき地医療支援の試み	朋百	2023年5月1日	五島市、五島医師会、MONET Technologies (株)、そらいいな (株)、豊田通商 (株) と連携して医療MaaSやドローン物流を活用したへき地医療支援活動を展開している。医療MaaSは2022年度デジタル田園都市国家構想に採択されたプロジェクトで、改造したトヨタハイエースに看護師、通信システム、医療機器を搭載し、通院が困難な患者宅を訪問してDoctor to Patient with Nurseモデルのオンライン診療を提供する。2023年1月から開始し、徐々に利用患者と利用する医療機関が増加している。また、2019年からドローン物流を活用して、二次離島等の患者へ医薬品を届けたり、二次離島からの血液検体の搬送を行っている。医療へのアクセスが困難な離島・へき地の医療課題を解決する手段として、実証を繰り返している。
前田隆浩・教授	「ICTリテラシーの壁を発想の転換で克服 医療MaaSで離島・へき地医療の質向上」	The Journal of Japan Association of Healthcare Consultants	2023年10月	五島市、五島医師会、MONET Technologies (株)、そらいいな (株)、豊田通商 (株) と連携して医療MaaSやドローン物流を活用したへき地医療支援活動を展開している。医療MaaSは2022年度デジタル田園都市国家構想に採択されたプロジェクトで、改造したトヨタハイエースに看護師、通信システム、医療機器を搭載し、通院が困難な患者宅を訪問してDoctor to Patient with Nurseモデルのオンライン診療を提供する。2023年1月から開始し、徐々に利用患者と利用する医療機関が増加している。また、2019年からドローン物流を活用して、二次離島等の患者へ医薬品を届けたり、二次離島からの血液検体の搬送を行っている。医療へのアクセスが困難な離島・へき地の医療課題を解決する手段として、実証を繰り返している。
前田隆浩・教授	「人口減の地域医療に活用」	読売新聞医療ルネサンス	2023年10月27日	過疎化と高齢化が進む地方では、医療（専門医療を含む）へのアクセスが困難な高齢患者も増えていくことが予想されるため、その課題解決策の一つとしてオンライン診療が役立つ。オンライン診療の社会実装に向けた意見を述べた。
近藤英明・助教	広報誌掲載	長崎県市町村職員共済組合・共済ながさき No. 199	2023年10月	組合員とその家族を対象とした広報誌において睡眠・覚醒の問題に関する啓発を行った。

## 感染症学・感染制御教育センター

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
泉川公一・教授	新型コロナ「5類」引き下げにより県内の医療提供体制への影響は?	NHK「イブニング長崎」	2023年1月23日	新型コロナウイルス感染症の感染対策の啓発を行った
泉川公一・教授	記者レク（会見）	長崎新聞、テレビ局各社	2023年5月8日	新型コロナウイルス感染症の感染対策の啓発を行った
泉川公一・教授	5類移行に伴う今後について	NIB「News every」	2023年5月8日	新型コロナウイルス感染症の感染対策の啓発を行った
泉川公一・教授	新型コロナシリーズ1	KTN「週刊健康マガジン」	2023年5月19日	新型コロナウイルス感染症の感染対策の啓発を行った
泉川公一・教授	新型コロナシリーズ2	KTN「週刊健康マガジン」	2023年6月30日	新型コロナウイルス感染症の感染対策の啓発を行った
泉川公一・教授	新型コロナウイルスや梅毒の啓発	KTN	2023年12月1日	新型コロナウイルス感染症の感染対策の啓発を行った
田中健之・講師	感染制御と感染症診療は似て非なるもの	Cadetto.jp	2023年5月1日	感染対策の啓発を行った
田中健之・講師	院内にとどまらず地域にも大きく貢献できる	Cadetto.jp	2023年5月1日	感染対策の啓発を行った
田中健之・講師	G7長崎保険大臣会合100日前フォーラム	長崎新聞	2023年3月12日	感染対策の啓発を行った
田中健之・講師	Instituto Gorgas con apoyo de Japón capacita a la región en vigilancia genómica	la web DE LA SALUD	2023年10月1日	感染対策の啓発を行った

## 離島・へき地医療学講座

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
前田隆浩・教授	ICTとドローンを使ったへき地医療支援の試み	朋百	2023年5月1日	長崎大学でのドローンを活用した取り組みについて説明を行った
前田隆浩・教授	「ICTリテラシーの壁を発想の転換で克服 医療MaaSで離島・へき地医療の質向上」	The Journal of Japan Association of Healthcare Consultants	2023年10月	長崎大学での取り組みについて説明を行った
前田隆浩・教授	「人口減の地域医療に活用」	読売新聞医療ルネサンス	2023年10月27日	遠隔医療（五島市モバイルクリニック）について説明を行った
野中文陽・助教	クローズアップジャパン	韓国日報	2023年10月30日	遠隔医療（五島市モバイルクリニック）について説明を行った
野中文陽・助教	医療ルネサンス「車で巡回、診療所と結ぶ」	読売新聞	2023年10月23日	遠隔医療（五島市モバイルクリニック）について説明を行った
野中文陽・助教	医療ルネサンス「離島の患者、3D画像診察」	読売新聞	2023年10月24日	遠隔医療（長崎大学関節リウマチ遠隔医療システム）について説明を行った

## 脳神経内科

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
辻野 彰・教授	難病対策センター開設について～これまでの経緯とこれから～	長崎医学同窓会 朋百	2023年2月	難病センター開設について発信した。

辻野 彰・教授	長崎大学や県病院企業団、ローカル5で離島に遠隔診療	日本経済新聞 電子版	2023年3月	遠隔診療システムについて発信した。
辻野 彰・教授	離島でも専門医の診療を県や長崎大学が遠隔診療で協定	NHK 長崎 NEWS WEB	2023年3月	遠隔診療システムについて発信した。
辻野 彰・教授	ローカル5G活用した遠隔診療で離島の患者の負担軽減へ【長崎県】	KTN テレビ長崎	2023年3月	遠隔診療システムについて発信した。
辻野 彰・教授	遠隔診療を長崎大学病院が遠隔支援 高速大容量通信を活用 4月から	長崎新聞	2023年3月	遠隔診療システムについて発信した。
辻野 彰・教授	長崎大学で脳卒中・心臓病等総合支援センター除幕式を挙行	日本応卒中協会 会報第75号	2023年12月	長崎支部の活動内容を発信した。
立石洋平・講師	道を整えるひと	長崎医学同窓会 朋百	2023年6月	卒後シリーズへの寄稿

## 腎臓内科

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
西野友哉・教授	守りたい。私たちの大切な腎臓	朝日新聞西部本社版	2023年3月8日	「世界腎臓デー」に合わせた啓発（腎臓病の予防や透析の最新事情など）

## 高度救命救急センター

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
田崎 修・教授	全国1000例 臓器提供 県内の現場	長崎新聞	2023年11月10日	長崎大学の臓器提供の状況について説明を行った。
田崎 修・教授	講座クローズアップ 長崎大学病院高度救命救急センター	九州医事新報	2023年12月20日	救命救急センターの活動について説明を行った。

## 光学医療診療部

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
山口直之・准教授	電気的特性（高周波発生装置設定）からみた新型止血鉗子 RAICHO2 ワイドエッジとスモールカップの有効性	カネカ製品カタログ医療従事者向け	2023年	電気的特性（高周波発生装置設定）からみた新型止血鉗子 RAICHO2 ワイドエッジとスモールカップの有効性について報告した。

## 臨床研究センター

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
住吉玲美・助教	第11回医療講演会 特発性多中心性キャッスルマン病とTAFRO症候群の分子標的薬	キャッスルマン病患者会 会報Vol.8	2023年7月1日	キャッスルマン病に関する最新情報を患者へ発信した。

## メディカル・ワークライフバランスセンター

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
南 貴子・准教授	長崎県全域の医師の両立支援に取り組む「あじさいプロジェクト」	九州医事新報 第711号	2023年8月1日	離職防止やフルタイム復帰支援、次世代教育等で働く医師の増加に寄与